

## 第3回佐伯市総合計画審議会

日時 令和5年1月10日(火)  
19時から21時まで  
場所 佐伯市役所  
本庁舎6階 大会議室

1 会長挨拶

2 議事

(1) 第2次佐伯市総合計画後期基本計画(案)に対する意見について

(2) その他

3 その他

	ページ	大分野	中分野	小分類	該当箇所	質問、意見等	回答	委員
1	33	_1自然・生活環境	_1自然環境の保全			<p>現代人が最も依存するエネルギー関連の項目がないのですが、財政的にも、一般市民の家計でも、エネルギーに費やす莫大な金額はほぼ市外に出ていくわけです。オーガニックシティを宣言し、循環型共生社会を目指すとするれば、エネルギーの分野も重要になってくるので、燃料や電気料金として外部に支払う費用を内需に移行し、エネルギーをいかに地産地消型に転換していくかが今後の課題だと考えます。</p> <p>それも、巨大な風力発電やバイオマス発電ではなく、小地域で住民の知恵と工夫を凝らし、より小規模で、低コスト、かつ専門家でなくても一般業者が修理可能な自然再生エネルギー等の在り方を追求する時期が来たと考えます。例えば災害避難所となっている施設などが独立した電源を持っていれば、災害時に停電が起きても影響がありません。</p> <p>そのために、まず、全国で先行している類似の取組などを調べ、情報収集し、佐伯の特定地域での実現可能性を調べるなどの準備から始めてはいかがでしょうか。</p> <p>また、そうした取組にマッチするような省庁や民間の補助金、助成金制度のリストアップなども並行してできると思います。このローカルなレベルでのエネルギーの地産地消へ向けての調査と準備を、計画のどの部分に反映するかはお任せします。</p>	<p>【環境対策課】 ご提案を踏まえ、下記のとおり追記します。 基本方針力 地域の特性をいかした再生可能エネルギーの活用による循環型共生社会を目指します。 主な取組力 再生可能エネルギーの地産地消に向けた調査研究</p>	岩佐副会長
2	17 34	_1自然・生活環境	_1自然環境の保全		主な取組ア	<p>主な取組に「森林クレジットの取組」とあるが、どのような内容でしょうか？</p>	<p>【林業課】 森林クレジットとは、J-クレジット制度のひとつで、国の定めた2050カーボンニュートラルに向けCO<sub>2</sub>吸収源対策として、間伐などの森林の適切な管理を行うことによるCO<sub>2</sub>吸収量をクレジットとして国が認証したものです。 この制度の調査研究に取り組み、市有林で行う森林整備によりクレジットを創出したいと考えております。これが国に認証されれば、佐伯市の森林クレジットとして環境対策に活用することや、必要な個人や企業等に売却し、カーボンオフセット等として活用していただくことができると考えています。</p>	高野委員
3	34	_1自然・生活環境	_1自然環境の保全		主な取組ア		<p>【環境対策課】 (イ)河川保全の「b 廃食油回収の取組」について、前回の会議で削除しない旨、説明していますが、「b 廃食油リサイクルの取組」に改めます。</p>	事務局

	ページ	大分野	中分野	小分類	該当箇所	質問、意見等	回答	委員
4	35	1自然・生活環境	1自然環境の保全		目標指標	目標指標にユネスコエコパークの調査研究の数も含んではどうでしょうか。2017年に登録されてから、佐伯市でどのような調査研究をしてきたのか、あまり知られておらず、このままでいくと、2027年の10年後の見直し時期に、ある程度の調査兼研究の成果をユネスコに提示できるのか心配です。指標に含まれれば、より積極的に大分大学や九州大学等や延岡市等の近隣自治体と連携した調査研究が促進されるのでは、と考えています。研究結果等は、シンポジウムなどで一般市民に公開すれば、ユネスコエコパークの自然の理解を深めてもらえると思います。	【エコパーク推進室】 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークにおける生態系の保全等を目的とした調査研究につきましては、県や市町が個別に調査研究を進める形ではなく、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークを構成する2県6市町を中心とした「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会」及び「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク学術委員会」を中心に進められており、目標指標の設定は難しいと考えています。 また、委員ご指摘の2027年の定期報告につきましては、現在準備を進めている所で、定期報告書がまとまりましたら普及啓発の為の資料として活用したいと考えています。	岩佐副会長
5	36	1自然・生活環境	2快適な生活環境の確立		基本方針力	犬猫の記述ですが、「特に飼い主のいない猫を減らします」を「特に飼い主のいない猫を減らし地域ネコ活動の普及に努めます」に修正してはどうでしょうか。以前は捕獲した野良猫を殺処分していましたが、何十年間も殺処分を続けても猫の数が減らないことから、今は野良猫の不妊・去勢手術の戦略に環境省も変更しています。つまり、殺さず、生かして、地域ネコとしてボランティアが管理、トイレや餌やりのケアをし、可能であれば里親を探してさらに野良猫の数を減らしていくのであって、単に手術をして野放しにするのでは意味がないです。	【環境対策課】 ご提案のとおり、不妊・去勢手術だけでなく餌やトイレなどの管理も必要なため、次のように修正します。 「特に飼い主のいない猫を減らし、適切な管理に取り組みます」	岩佐副会長
6	37	1自然・生活環境	2快適な生活環境の確立		主な取組力	カ 犬・猫の適正飼養と飼い主のマナー向上 の具体策として追加された(イ)おおいたさくら猫プロジェクトの推進 は「おおいたさくら猫プロジェクトの推進及び地域ネコ活動の普及」に修正してはどうでしょうか。	【環境対策課】 さくら猫プロジェクトは、不妊・去勢手術を行い、その猫を元の地域に戻し、子孫を残さず一代限りの命として、その地域で見守っていくとするものです。ご提案の内容につきましては、さくら猫プロジェクトに含まれているため、文言の修正は行いません。	岩佐副会長
7	40	1自然・生活環境	4公園緑地の整備		主な取組ウ	ウの(ア)老朽化した施設及び登山道の整備 について、「老朽化した施設及び景観に配慮した登山道の整備」としてはどうでしょうか。佐伯城の石垣が国指定史跡になる一方で、現状の城山の登山道は、手すりがメタルであったり、看板も無防備にあちこちに立てかけてあったり、自然環境の景観に配慮した整備とは言えません。登山道全体が自然環境と調和し、始まりから終わりまで一貫性のある整備をする必要があると思います。	【都市計画課】 ご提案のとおり変更します。	岩佐副会長

	ページ	大分野	中分野	小分類	該当箇所	質問、意見等	回答	委員
8	51	_2生活基盤	_4生活交通体系の構築		目標指標	<p>目標指標がコミュニティバスの1便当たりの利用率のみでよいでしょうか？</p> <p>最適化された利用状況の構築が狙いだと思いますが、1便当たりとなると、人口減のながれでいくと便数の増加は利用率は低下し、1便の利用率を上げるとなると便数を減らして一度に乘る人を増やす取り組みになっていくと思います。</p> <p>そうすると、例えば観光客含めた利用者はさらに利便性が低下し目標指標達成も厳しいかと感じます。</p> <p>現状と課題などからは、自家用車が利用しにくい人においての生活交通体系の構築が目的であるならば、他の政策でも出ているICTやDXの取り組みとセットにした、Suica等電子カード決済による支払いの簡略化とともに利用者データの見える化による、コミュニティバス等インフラの利用継続率などを目標指標にすることもできるのではないかと思います。</p>	<p>【地域振興課】</p> <p>できるだけ様々な利用目的に対応可能な、適正な時刻に運行するダイヤの設定が重要と考えており、効率的な運行を行うため利用状況を適確に把握し、不要と思われる路線については廃止・減便・縮小等を検討していく必要があります。</p> <p>ただし、1便当たりの利用率を上げるために便数を減らすのではなく、乗り方教室の開催や周知の徹底等、モビリティマネジメントやアンケート等による利用者の利便向上のためのダイヤ・路線の見直しによる潜在的な需要の掘り起こしをおこない、利用者増を図る形で目標指標の設定を行います。</p> <p>令和3年10月からの民間バスの撤退による再編では、バス車両に整備している電子カード決済システムを活用し、路線の見直し、スリム化を図りました。</p> <p>バス事業者に委託している車両以外の自家用有償運送車両へのICカード決済システムの整備や、デマンド予約システムの構築等、ICTやDXの導入、活用による方策については今後の課題であると考えています。</p> <p>現状では、後期基本計画の目標指標として設定することはできませんが、これらを整備することにより、「1便当たりの利用率」以外の効果的な目標指標についても研究いたします。</p>	川野委員
9	52	_2生活基盤	_5中心市街地の活性化		主な取組ア	<p>主な取り組みにあるイベント等の実施の実施団体はどのような団体でしょうか？</p> <p>市の職員駆り出しによるイベントが近年特に増えているように思います。</p> <p>できるだけ民間でのイベント実施とし、職員はイベントに参加者として来てもらって、経済を回す構図にしていきたいと思えます。</p> <p>その為にも、イベント実施団体の育成などの項目追加等、誰が主体で行うのか明記されてはでしょうか？</p>	<p>【地域振興課】</p> <p>さいき城山桜ホールが完成した大手前地区、また、葛港地区では、民間団体によるイベントの実施がされてきておりますが、一方で市の職員を動員する行事も増加しております。</p> <p>イベントの主体(育成)については、計画に明記はいたしません。委員のご意見のとおり、「民間主導でのイベント実施」を第一に考え、民間団体の連携や協働、育成を支援し、まちの賑わいづくりを推進していく所存であります。</p>	川野委員

	ページ	大分野	中分野	小分類	該当箇所	質問、意見等	回答	委員
10	54	_3保健医療福祉	_1地域医療と健康増進の充実		主な取組ア	<p>①看護師、医療事務、介護士をはじめとし、人材不足が深刻で、これが理由で将来閉院に追い込まれる心配がある。</p> <p>②准看護学校も毎年定員割れが続いており、医師会は1千～2千万円の赤字の中運営している。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>子育て世代の女性の就労を補助する施策が必要ではないか。</p> <p>・夕方保育園が終わり、残業に耐えられるまでの保育、夜間保育。</p> <p>・病気(子ども)の際のバックアップ(病児保育を含め)</p> <p>・ひとり親の佐伯への移住促進(就職口がある事、食と環境が良い事、物価が安い事、これに市の補助を加える)</p>	<p>【こども福祉課】 現在、保育園閉所後の延長保育を一部18:30まで行っています(園によっては19:00まで)。夕方以降の夜間保育については、ご提案の内容を含め、ニーズや関係者の意見を聞きながら検討してまいりたいと考えています。また、病児・病後児保育は、西田キッズクラブ(西田病院)で実施しているところです。</p> <p>【コミュニティ創生課】 「ひとり親」のための施策は、児童扶養手当、ひとり親家庭等の医療費助成(ただし、令和5年4月以降は、さいきっ子医療費助成で18歳到達の3月31日までの全ての子どもが対象となる予定)、母子・父子・寡婦福祉資金貸付金、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金などがありますが、本市独自の「ひとり親」に特化した施策はございません。</p> <p>移住施策としては、「ひとり親」に特化した施策はございませんが、佐伯市移住応援給付事業補助金では子どもを帯同して転入する方に対して、給付金(30万円/世帯)を支給することとなっています。とりわけ2人以上帯同して転入する方への給付金(40万円/世帯)は、県下でもトップの給付額となっています。</p> <p>委員御提案の「ひとり親」への移住促進策については、他市の取組等も参考にしながら、今後、調査研究をしていきます。</p>	島村委員
11	57	_3保健医療福祉	_2地域で支える福祉活動の推進		主な取組ウ	<p>認知症対策 現在、7人に1人が認知症であり、近い将来に4人に1人が認知症になると予想されています。その予防には、</p> <p>①しっかり物を噛む食事をする事</p> <p>②会話をする事</p> <p>③手先を含め身体を動かす事</p> <p>今後、認知症予防はとても大切なことです。</p> <p>耳鼻咽喉科としての立場からの質問、②の会話の為には、補聴器を必要とすることが多々あります。その中で経済的理由から断念するケースが時々見受けられます。市として経済困窮者への補聴器の補助はいかにお考えか。</p>	<p>【高齢者福祉】 本市では、聴覚障がいや身体障害者手帳を受けている方等を対象に助成を行っておりますが、対象外である身体障害者手帳の交付を受けていない軽度・中等度の難聴高齢者に対しても、購入費の助成は国の公的補助として制度化されることが望ましいと考えており、全国市長会においても、軽度・中等度難聴者の補聴器購入について補装具費の支給制度で対応する等を、国に対し提言しているところです。</p> <p>なお、本市の取組としては難聴の高齢者の認知症予防のため、さいきの茶の間やふれあいサロン等の通いの場及び介護予防教室等、介護予防事業の利用を推進しております。</p>	島村委員
12	61	_4教育文化	_1学校教育の充実		現状と課題	<p>3行目の「オーガニックシティさいき」とあるが、「さいきオーガニックシティ」に言葉を統一してはどうか。</p>	<p>【政策企画課】 総合計画の全体的な文言の統一の中で調整いたします。</p>	大石委員

	ページ	大分野	中分野	小分類	該当箇所	質問、意見等	回答	委員
13	64	_4教育文化	_2生涯学習の充実		基本方針	佐伯市立図書館、公民館(コミセン)、やわらぎや歴史資料館、独歩館等の学習施設のWIFI環境を整備し、施設利用者がすぐ知りたいことをネット検索することができるようにしていただきたいと思ひます。どう文章に反映するかはお任せします。	<p>【社会教育課】 現在、社会教育関係施設においてWi-Fi環境の整備については、図書館と地区公民館(コミセン)で避難所の指定を受けている内6か所、計7か所に整備しています。 各分野において施設の機能充実、利便性向上、環境整備に取り組むこととしております。ニーズや施設の状況等を踏まえて、ご提案の内容も含めて検討してまいります。</p> <p>【コミュニティ創生課】 コミュニティセンターについては、多くの地域住民が集う施設として、Wi-Fiを活用した地域交流や地域活動が行える環境整備を進めていく必要があると考えています。センター化した施設については、Wi-Fi環境を整備する方針で取り組んでいるところです。</p>	岩佐副会長
14	69	_4教育文化	4市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承			旧文化会館跡地の今後の計画は？観光として活用できるもの？	【社会教育課】	藤原委員
15	70	_5産業振興	_1農業の振興	_1水田農業の振興	現状と課題	これは、コメントです。記述には反映されていませんが、スマート農業の効率化の一つとしてドローンによる農薬散布などが増えています。これは効率的な一方、高度によっては風で農薬が広範囲に散布され、周辺の野山の自然環境に影響を及ぼす可能性もあります。現に、ミツバチが激減している理由の一つに農薬散布が挙げられており、ミツバチの受粉に頼るみかん農家やその他の農作物生産者にも影響を及ぼすので、厳密な管理のもとに実施していただきたいと思ひます。	<p>【農政課】 ドローンによる農薬散布については、農林水産省の「農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」や「大分県無人航空機利用による農薬散布に関する基本方針」に沿った実施が必要とされています。本市においては大分県、佐伯農業ドローン協議会、養蜂家などと連携し、ガイドラインの遵守等に取り組んでいます。具体的には、農薬散布業者から提出された散布計画や養蜂家情報を関係者で情報共有しています。また、毎年実施される大分県無人航空機オペレーター等安全対策研修会にて養蜂被害対策の徹底を図っているところです。</p>	岩佐副会長
16	70	_5産業振興	_1農業の振興	_1水田農業の振興	現状と課題	17行目の「農村型地域運営組織の推進」とは何を示しているのでしょうか。新たな組織でしょうか。	<p>【農政課】 人口減少や高齢化の進行から、活動取組の脆弱化が懸念されるため、中山間直払いや多面支払いの組織など農用地の保全活動を行っている組織に加え、自治会など地域内外の新たな人材等を巻き込んだ新たな組織による運営を提案します。</p> <p>農村型地域運営組織とは、複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織をいいます。 ※印が付いている用語には、巻末に解説を掲載いたします。</p>	竹中委員

	ページ	大分野	中分野	小分類	該当箇所	質問、意見等	回答	委員
17	73	_5産業振興	_1農業の振興	_3有機農業の振興	現状と課題	下から5行目に「今年度設立した…」とあるが、〇年度に修正してはどうか。	【農政課】 ご提案のとおり、「令和4年度に設立した…」に修正します。	大石委員
18	77	_5産業振興	_2林業の振興			主な取組に「森林経営管理制度導入にかかる調査研究」を追加したらどうか。 (理由) この制度は森林所有者自らが経営管理できない森林を市が仲介役になって森林所有者と林業経営者をつなぎ、森林の適切な管理等を図る仕組みであり、森林(人工林)の荒廃防止や環境保全につながると思います。全国的には取組をしている自治体があるようです。	【林業課】 森林経営管理制度の取組は、34ページの(1)自然環境の保全(ア)森林保全「a 保育施業の推進」(前期は「保育間伐の推進」)に包括されており、これを基に、個別計画である「第1次佐伯市林業振興計画(R2~R4)」に掲げ取り組んでいます。 現在策定中の「第2次佐伯市林業振興計画(R5~R9)」においても、引き続き、未整備森林の整備促進として重点取組に位置付け、取り組むよう考えております。	高野委員
19	89	_5産業振興	_6観光産業の振興	_1佐伯の強みをいかした観光素材の開発	主な取組ア	(イ)造船業の進水式を活用した観光産業の育成 進水式は全国的にも見学できる場所が限られており、重要な観光産業だと思います。 観光協会では主に旅行会社へ進水式を見学するツアーの誘致に取り組んでおり、旅行会社の反応も良いです。ただ、進水式の日程が1ヶ月前頃でないこと確定しないことで旅行会社の募集開始に間に合わずほとんどが実施までたどり着けていません。 また、進水式・造船所についての学びや現地・市内での消費ができるコンテンツも必要かと思えます。	【観光課】 造船会社から市への進水式の案内についても1ヶ月前頃という状況です。確かに日程決定後、短期間での募集となることから旅行商品としては造成が難しいと考えられますが、委員のご意見にもあるように旅行会社には市内の観光コンテンツ(例えば豊後二見ヶ浦+大地酒造見学+寿司や海鮮の食事)と合わせ、進水式見学をセットでの販売をする方向で検討できればと考えます。また新型コロナウイルス感染症の流行により、よりパーソナルな旅行に変化がありますので、個人旅行等へのアプローチも行って行きたいと考えます。	藤原委員
20	90	_5産業振興	_6観光産業の振興	_1佐伯の強みをいかした観光素材の開発	主な取組ウ	(イ)サンゴ礁や離島、釣りなどの海の暮らし体験 (観光協会としても取り組むべきところかと思えますが)令和3年度までにどの程度計画は進行したのでしょうか。	【観光課】 サンゴ礁の見学等マリンスポーツについては市全体での取組は進んでいませんが離島それぞれの島が持つ魅力をHP上で情報発信しているところです。また、釣りに関しては県外からも来られている実態や釣り具メーカー主催による大会も開催されていますので、釣りをコンテンツとした観光消費の実態を把握し、誘客に活かしたいと考えます。	藤原委員

	ページ	大分野	中分野	小分類	該当箇所	質問、意見等	回答	委員
21	98	_6まちづくり	_4「食」のまちづくり			<p>① 佐伯と言えば「海と山と食彩のまち」、2011年に高速入口正面に佐伯ロータリークラブが看板を設置したが、現在雑木によって見えなくなっている。周囲の伐採は可能か</p> <p>② 佐伯を代表する食は何か。何を市外へ売り出したいのか。寿司、伊勢エビ、マグロ、ブリ、ごまだし…いずれもインパクトが今一つ。もっと大々的なアピールが必要。ブランド名も必要。美人ブリはいいが、マグロやイカでは後れを取っている印象。寿司の質(レベル)も今一つ。まちを挙げた研修と競争が必要と考えるかいかがか。(インパウンドの推進にも関与する)ヒラメやカンパチ、イワガキにもブランド名がほしいところ。</p>	<p>①【政策企画課】 看板設置場所の土地所有者等を確認し、検討いたします。</p> <p>②【ブランド推進課】 ご指摘のとおり、ブランド推進課としても市外への売り出しや製品のブランド化には苦慮しています。ブランド流通促進協議会を立ち上げ、生産者や専門家の意見を取り入れ様々な事業展開をしていますが、「関サバ・関アジ」くらいのインパクトのあるものを全国に発信できるまでには、到っていません。今後は提案のありました「研修と競争」を取り入れて、市外へ売り込めるよう考えていきます。</p>	島村委員
22	102	_6まちづくり	_6国際化の推進		主な取組ア	<p>ア 異文化交流の取組に「(オ)佐伯市在住の技能実習生との交流」を追加する提案です。佐伯市は大分県の中でも技能実習生が多い自治体で、多様な分野で400人近くのアジア系技能実習生が働いています。彼らが属する企業と提携して、市民や子どもたちが技能実習生との文化交流をする機会をもっと作れると思います。</p>	<p>【政策企画課】 先進的な事例として、米水津地域において、あまべ商工会と水産加工業者で構成する「よのうづ国際交流会」が技能実習生の日本語教育や日本文化の体験など地域交流の活動支援に取り組んでいます。 また、さいき桜まつりにおいて、技能実習生の参画もいただいているところです。 こうした事例も踏まえながら、検討します。</p>	岩佐副会長
23	105	_6まちづくり	_7市民サービスの充実		目標指標	<p>目標内容「交通事故重症者数」について、基準値が13人/年、目標値が15人/年となっている。 実現不可能であれば仕方ないが、基準値同か減が目標の方がよいのではないか。</p>	<p>【総務課】 目標値については、令和3年度に策定した「第11次佐伯市交通安全計画(令和3年度～令和7年度)」における目標数値との整合を図っております。</p>	大石委員
24	1					<p>1ページ目の市民憲章と一緒に佐伯市歌を掲載してはどうか。 (理由) 市歌の歌詞は、佐伯市が目指すオーガニックシティ「人と自然が共生する持続可能なまち(循環型共生社会)」のイメージそのものであると考えます。</p>	<p>【政策企画課】 ご提案のとおり、佐伯市歌を掲載します。 併せて、自然環境に優しい、持続可能なまちをつなぎ続けることを目的とする「さいきオーガニック憲章」についても掲載します。</p>	柴田会長



	ページ	大分野	中分野	小分類	該当箇所	質問、意見等	回答	委員
25	-					廃校跡地利用の審査方法(基準)を教えてください。	<p>【行政マネジメント課】</p> <p>廃校跡地利用については、①市の事業としての活用、②企業や住民団体等による活用、③地域住民(地区)の利用を検討することとしています。</p> <p>それぞれの廃校の状況を踏まえ検討をしていますが、利用希望があっても施設の規模や維持管理コスト、既利用状況等との折り合いがつかないことも多く、利活用が進んでいない状況です。引き続き積極的な情報提供等により利活用を推進します。</p>	川上委員
26	-					全ての面において必要な人材、この育成にはどんな取組を考えていますか。	<p>【政策企画課】</p> <p>さいき創生を進めるためには、「人づくり」が欠かせません。各分野において様々な人材育成に取り組みます。</p> <p>※人材育成の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然環境・生活基盤分野 避難訓練など市民一人一人の防災意識の向上、防災士の育成やスキルアップ</li> <li>●保健医療福祉・教育文化分野 健康づくり推進のため地区組織等の育成、幼児教育・保育環境の充実のための保育士等の研修、子どもたちの郷土愛をはぐくむ「ふるさと教育」、文化芸術に携わる人材育成</li> <li>●産業振興・まちづくり分野 農林水産業における担い手の確保、創業者向けセミナーの開催や経営力向上の取組、まちづくり団体等の育成及び活動支援、新たな地域コミュニティの組織づくり、佐伯市民大学令和四教室など</li> </ul> <p>このほか、各施策を具体的に実施する中でも人材の育成に取り組んでまいります。</p>	川上委員
27	-					市内外で稼いだお金を最大限市内で使って頂く為、プレ券以外にどんな取組を考えていますか。	<p>【商工振興課】</p> <p>域内消費を促す取組として、地域内経済の循環に寄与するデジタル地域通貨の導入及び運用が可能かを検討中です。</p>	川上委員